

# IBM Spectrum Storage Suite

データ・ストレージの急増や変化に柔軟に対応する  
費用対効果に優れたSoftware Defined Storageソリューション

---

## ハイライト

- IBM® Spectrum Storage ファミリーと IBM Cloud Object Storage ソフトウェアへの無制限アクセス
  - ソフトウェアのアップグレードや追加の際に、追加のライセンス・コストは不要
  - データの管理、保護、保管の方法を改善し、新規ストレージの迅速な実装を実現
  - コグニティブなワークロードをはじめとする、多種多様な新時代のワークロードをサポート
- 

今日、データは急速に増大しているだけでなく、内容そのものが以前とは大きく変化しています。データは、企業からだけでなく、ソーシャル・メディアやモノのインターネット(IoT)など、さまざまな場所から発生しています。また、バックアップやアーカイブに加え、アナリティクスやコグニティブのワークロードなど、データはさまざまな業務に使用されています。従来型のブロック・データと、ファイル・データおよびオブジェクト・データとは構造が異なります。さらに、ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 環境だけでなく、ソフトウェアで定義された大容量ストレージ・サーバーやクラウドなど、従来とは異なる場所にデータが保管されています。

ビジネスにおけるデータのメリットが大きくなる一方で、こうした変化は IT インフラの複雑化やコストの増加を引き起こす可能性があります。IT インフラにおける管理からライセンスに至るまでの課題は、多くの場合、仮想化環境によって多様なベンダーのアプリケーションを導入することが原因で生じています。しかし、ライセンスと料金体系が分かりやすく、必要に応じて使用するソフトウェアの追加や変更がライセンス・コストの追加なしで行える統合ソリューションの採用により、データを最大限に活用するために必要となる管理の簡素化とコストの削減が実現できます。

IBM Spectrum Storage ファミリーと IBM Cloud Object Storage ソフトウェアの利用が可能となる IBM Spectrum Storage Suite は、TB 単位の均一なライセンス料金体系です。そのため、容量が増えた際のコストが予測可能です。ストレージ・ニーズの変化に柔軟に対応可能な統合ソリューション IBM Spectrum Storage Suite は、Software Defined Storage を採用したばかりの企業や、既存のインフラストラクチャーを活用しつつ機能を拡張する必要に迫られている企業に特に最適な選択肢です。

## ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) から Software Defined Storage (SDS) への拡張

多くの企業は、ソーシャル・メディア、IoT、コグニティブ・コンピューティングなどの新しい発生源から生じるデータと比較して、データベース、e-メール、エンタープライズ・リソース・プランニング (ERP) などの従来型ワークロードから生じるデータは、増加速度がはるかに遅いということに気付いています。SAN ベースのストレージ・システムで従来型アプリケーションが扱うデータの保管ニーズに対応する一方で、急増している新しいデータの保管先として、サーバーに搭載された大容量ストレージを活用する SDS ソリューションが選択されるようになってきました。2014 年に企業が購入したサーバーに搭載されたストレージ容量は、従来型ストレージ・アレイの容量よりも多いものでした。そして 2018 年までにサーバーに搭載される大容量ストレージは、新たに購入されるストレージ容量の 50% を占めることになると予測されています<sup>1</sup>。



プラットフォームを問わずに必要なストレージ機能を提供すると同時に、ストレージ・コストを削減し、将来のストレージ・コストが予測可能であるかどうか、ストレージ容量の増加に伴う課題です。

## ストレージの容量管理を改善・向上するための IBM アプローチ

IBM Spectrum Storage Suite は、データの管理、保護、保管の方法を改善・向上して、新しいストレージ容量を迅速に実装し、ライセンス・コストを増やすことなくソフトウェアを変更または追加できます。ライセンス料金は、使用しているソフトウェアの製品数ではなく、管理対象のストレージ容量に基づいています。IBM Spectrum Storage Suite は、SDS に対するあらゆるニーズに対応するとともに、運用面とコスト面でのメリットを提供します。IBM Spectrum Storage Suite は、IBM Spectrum Storage ファミリーの全 6 製品と IBM Cloud Object Storage software が利用できます。

- **IBM Spectrum Control** – アナリティクスに基づくハイブリッド・クラウド・データ管理により、コストを最大 73% 削減<sup>2</sup>
- **IBM Spectrum Protect** – 最適化されたハイブリッド・クラウド・データ保護により、バックアップ・コストを最大 53% 削減<sup>3</sup>
- **IBM Spectrum Archive** – アクティブ・アーカイブ・データの総所有コスト (TCO) を最大 90% 削減<sup>4</sup>
- **IBM Spectrum Virtualize** – 混合ブロック環境の仮想化により、最大 5 倍<sup>5</sup> のデータを保管
- **IBM Spectrum Accelerate** – ハイブリッド・クラウド向けのエンタープライズ・ブロック・ストレージを数分で導入
- **IBM Spectrum Scale** – 高性能で極めてスケーラブルなハイブリッド・クラウド・ストレージにより、非構造化データに対応してコグニティブ・アプリケーションを推進
- **IBM Cloud Object Storage** – ハイブリッド・クラウド・ワークロード向けの地理的に分散したエンタープライズ・クラスの可用性とセキュリティーで、柔軟、スケーラブルでシンプルなオブジェクト・ストレージ

## 導入と管理の柔軟性

IBM Spectrum Storage ファミリーと IBM Cloud Object Storage ソフトウェアは、幅広いストレージの選択肢を提供しています。従来型の SAN ストレージに加え、お客様の最適な時期に SDS ソリューションやクラウド・サービスに移行するために必要となる柔軟性を提供します。

例えば、IBM Spectrum Accelerate は、グリッド・アーキテクチャーを採用したハイエンド IBM XIV および IBM FlashSystem A9000 と IBM FlashSystem A9000R ストレージ・システムの中核を成すソフトウェアです。IBM Spectrum Accelerate は、x86 サーバーに導入して、ストレージの柔軟性、パフォーマンス、管理容易性、およびスケーラビリティの向上を実現できます。また、パブリック・クラウドである Bluemix Infrastructure 上のサービスとして、クラウド環境に導入することもできます。このような柔軟性により、既存のサーバーに搭載されているストレージを活用するとともに、仮想化された計算機能とストレージ機能を同じサーバー上で実行する効率性も得られます。専用のストレージ・ハードウェア

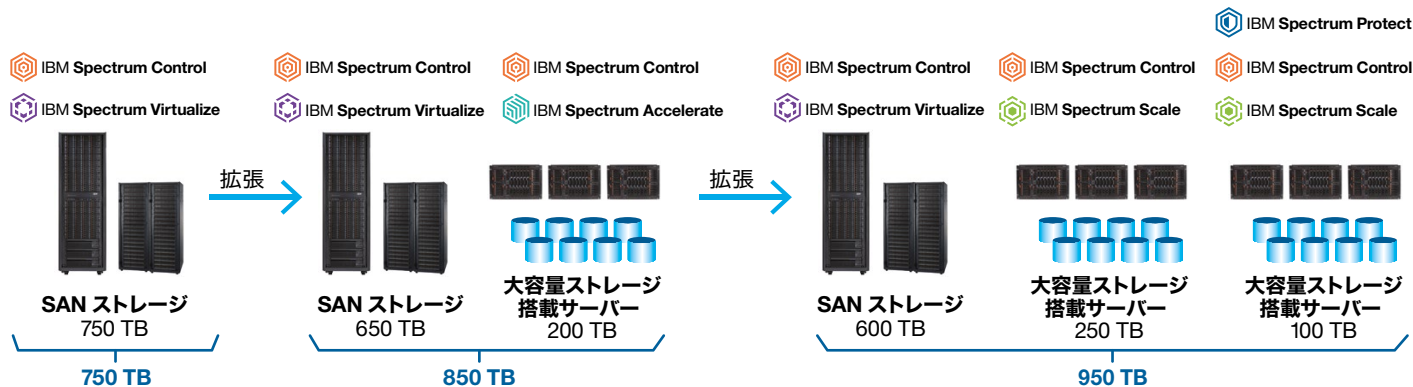
を購入する必要はありません。さらに、IBM Spectrum Storage Suite であれば、ソフトウェア・ライセンスを変更することなく、必要に応じてストレージ容量を拡張させることができます。

## ソフトウェア・スイートにより、容易な拡張と変更が可能

IBM Spectrum Storage Suite で使用する容量を拡張する場合は、単に、ソフトウェアで定義された環境 (SDE) に組み込む物理容量を TB 単位で追加するだけです。SDE に組み込む物理容量により、IBM Spectrum Storage Suite のコストが決まります。時間が経過しても容量が同じである場合は、コストも同じです。導入するソフトウェア・コンポーネントの数は関係ありません。SDS に組み込むサーバー・ストレージの台数増加に伴って SDE に組み込むストレージの物理容量が増加すると、コストも対応して増えます。例えば、TB 単位の容量が 10% 増えると、同様にソフトウェア費用も 10% 増えます。

IBM Spectrum Storage Suite は、ストレージ・コストが予測しやすく、ストレージ予算の管理容易性を高められるライセンス料金を採用しています。ただし、膨大な量のアーカイブ・データや使用率の低いデータに使用されるテープ・ストレージは、スイートの料金の計算には含まれません。

## サンプル・シナリオ: IBM Spectrum Storage Suite による拡張



Spectrum Storage Suite の使用を 750TB の SAN ストレージ環境から開始しました。この Spectrum Accelerate により、新規で 200TB のブロック・ストレージ環境を構築しました。追加のライセンス・コストはソフトウェアで定義された環境 (SDE) に組み込む物理容量について発生するため、同時に SAN ストレージ容量を 100TB 削減しても、全体としては、初期の SAN ストレージ容量である 750TB に対して 200TB が加わった 950TB 分の Spectrum Storage Suite の使用権利を取得したことになります。従って、その後、SAN ストレージの容量が 50TB 減少し、新たに SDE を 150TB 追加しファイル/オブジェクト・ストレージ環境を構築しても、合計が 950TB から変化していないため、追加のライセンス・コストは発生しません。

### IBM Spectrum Storage Suite の概要

#### ライセンス・オプション

<b>永久</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予測に基づく予算管理が可能な料金体系</li> <li>IBM Spectrum Storage ファミリーの全製品に対応した単一ライセンスに対する課金 (初回のみ)</li> <li>技術サポートと製品更新のための、サブスクリプションとサポートの年間料金</li> <li>ストレージ容量のニーズが徐々に増加、または、容量の予測が可能なお客様に最適</li> </ul>
<b>月単位</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用予測に基づく予算管理が可能な料金体系</li> <li>IBM Spectrum Storage ファミリーの全製品に対応したテラバイト (TB) 単位の課金体系に基づく単一ライセンス</li> <li>指定された期間 (通常は 1 カ月～ 60 カ月) に対応するライセンス</li> <li>ライセンス期間中のソフトウェア、ダウンロード更新、技術サポートに対するライセンス</li> <li>ストレージ容量のニーズが急増、または、短期間にストレージ要求が急増しているお客様に最適</li> </ul>
<b>ユーティリティ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用予測に基づく予算管理が可能な料金体系</li> <li>永久ライセンスと月単位のライセンスの組み合わせ <ul style="list-style-type: none"> <li>初回のみ課金</li> <li>TB 単位のライセンスと期間単位のライセンス</li> </ul> </li> <li>ストレージ容量のニーズが複雑になっているサービス・プロバイダーなどのお客様に最適</li> </ul>

## IBM をお勧めする理由

データ・アクセスと可用性は、ビジネス・プロセスを向上させるか否かを左右します。20 年以上にわたってストレージ・ソフトウェアのサプライヤーとして信頼されてきた IBM は、データ・アクセスと可用性を向上させ、コストを制御する上で数千社の企業を支援してきました。さらに、IBM は、必要に応じてデータを使用でき、いつでもリカバリ可能であるという信頼性を提供します。実地経験から開発された IBM Research のイノベーションとベスト・プラクティスはともに、卓越した価値を提供して、良好なビジネス成果を達成するための強固な基盤となります。

## 詳細情報

IBM Spectrum Storage Suite の詳細については、日本 IBM 営業担当または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

<https://www.ibm.com/systems/jp-ja/storage/spectrum/index.html>



© Copyright IBM Corporation 2016

日本アイ・ピー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan  
December 2016

IBM, IBM ロゴ, ibm.com, IBM Spectrum Accelerate, IBM Spectrum Archive, IBM Spectrum Control, IBM Spectrum Protect, IBM Spectrum Scale, IBM FlashSystem, および XIV は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml)

インテルおよび Intel は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本資料は、最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能できるわけではありません。

ここに記載したパフォーマンスのデータは、特定の動作条件のもとで測定したものです。実際の結果は、異なる可能性があります。

本資料の内容は、現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含む、すべての明示もしくは黙示の保証責任または保証条件を負わないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

実際に使用可能なストレージ容量は、データが展開されているか圧縮されているかにより変動するため、記載された値よりも小さくなる場合があります。

- 3 累積的な節約の見積りに関する IBM Butterfly software アナリティクス・エンジン・レポートに基づきます。
- 4 IBM TS3500 テープ・ライブラリー/IBM Spectrum Archive ソリューションと、データ管理に IBM Spectrum Control を使用する IBM DS5100 ディスク・ストレージ・ソリューションの 3 年間の TCO を比較した結果に基づきます。
- 5 IBM 研究所における測定結果 (2012 年 4 月) に基づきます。

<sup>1</sup> Natalya Yezhkova 「Worldwide Enterprise Storage Systems Forecast, 2015–2019」資料番号 256302, IDC, 2015 年 5 月  
<https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=256302>

<sup>2</sup> ITG Management Brief 「Cost/Benefit Analysis of IBM Spectrum Storage」ITG, 2015 年 11 月 <http://www-01.ibm.com/common/ssi/cgi-bin/ssialias?subtype=WH&infotype=SA&htmlfid=TSW03325USEN&attachment=TSW03325USEN.PDF>



Please Recycle



IBM  
Spectrum  
Storage Suite